

琉球アスティーダスポーツクラブ(7364)

卓球プロ選手として世界を目指す沖縄の若者を応援する スポンサー収入は継続率が高く、ストック型ビジネス

TOKYO PRO Market | 娯楽施設 | 会社紹介

BLOOMBERG 7364:JP | REUTERS 7364.T

- 「卓球を中心としたプロスポーツ×沖縄×飲食」の相乗効果を図る事業を展開。スポーツ関連事業と飲食事業の2事業を営む。
- 若年層比率が高い沖縄でプロ卓球選手として世界を目指す若者の夢を応援するスポンサー収入は、高継続率でストック型のビジネス。
- 株式型クラウドファンディングの積極的導入は将来のスポンサー層の裾野を広げるマーケティングとして有効なツールとなっている。

What is the news?

同社は「卓球を中心としたプロスポーツ×沖縄×飲食」の相乗効果を図る事業を展開。スポンサー収入を主力とするスポーツ関連事業、および直営とフランチャイズで展開する飲食事業から構成される。2020年度の売上構成比では飲食事業が約52%を占めているが、セグメント利益ではスポーツ関連事業が主力となっている。

卓球のプロスポーツは、国内のTリーグのほか独ブンデスリーガや中国スーパーリーグなど国際的の人気が高い。琉球アスティーダの活躍フィールドは世界に広がっており、外国籍の所属選手も多い。次に、沖縄県は2019年の合計特殊出生率が1.82と全国平均の1.36を上回り、人口も自然増加となっていることから若年層の比率が高い。卓球は道具に費用がかからず、努力次第で10代半ばの若さで国際的な大舞台で活躍することも夢ではないこともあり、同社の活動は沖縄の若者に夢を与える社会的インパクトがあろう。また、飲食事業における店舗は、単に飲食の場だけでなく、琉球アスティーダに係る情報発信およびファンが集って沖縄の食と卓球を楽しみながら繋がる場としての付加価値を有している。

このような同社の活動へのスポンサー収入は、若者の志や思いへの応援としてスポンサー継続率の高さに繋がり、スポンサー数と共に増加するストック型ビジネスの性格が強い。そのため、収益が持続的に安定しやすい面があろう。また、同社は株式型クラウドファンディングを導入し、小口の応援株主の増加を図っている。これは将来のスポンサー層の裾野を広げるマーケティングとして有効なツールとなっている。

How do we view this?

2020/12通期は、売上高が前期比52.5%増の3.98億円、営業利益が同73.6%減の111千円、経常利益が同77.8%増の8,343千円。スポーツ関連事業は増収増益だったが、飲食事業に対するコロナ禍の影響が営業減益に響いた。その一方、給付金収入が経常増益に寄与した。

2021/12通期会社計画は、売上高が前期比25.8%増の5.01億円、営業利益が同372倍の41,274千円、経常利益が同約4.7倍の38,909千円。オリンピック開催に伴いメディア露出が増えることによりTリーグへの注目度が上がるとみられ、スポーツ関連事業のスポンサー企業数増加に向けて九州・アジアに目を向けていく方針としている。

業績推移

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F
売上高(千円)	71,501	261,219	398,339	501,154
経常利益(千円)	▲30,699	4,691	8,343	38,909
当期利益(千円)	▲33,375	6,529	5,796	32,458
EPS(円)	▲34.34	5.06	4.17	23.29
PER(倍)	-	138.34	167.87	30.06
BPS(円)	3.36	37.56	56.94	-
PBR(倍)	208.33	18.64	12.29	-
配当(円)	-	-	-	-
配当利回り(%)	-	-	-	-

(※)2018/3/1付で普通株式1株につき100株の割合で、また2019/4/25付で普通株式1株につき3株の割合で、および2019/11/22付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を実施したが、2018/12期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPSを算定している。(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)
 株価(円) 700 2021/3/30(終値)

会社概要

2018年2月に代表取締役の早川周作氏が、「沖縄から世界へ」をスローガンに、スポーツの力で社会貢献していくことを目指して設立。同社の活動と、世界で活躍する選手たちに刺激を受けた沖縄の子どもたちがスポーツに興味を持ち、優秀な選手に育つことで、沖縄にとつての「明日の太陽(ていだ)」となることを目標に「アスティーダ」との社名が名づけられた。卓球チームの琉球アスティーダが世界に知られるビッグクラブとなることで、沖縄の魅力が広く世界に知られ、地域創生に繋がることを目指している。2021/3/30にTOKYO PRO Marketに上場した。

同社のビジネスモデルは、スポンサー収入のみに頼る従来のスポーツクラブ経営と異なり、「プロスポーツビジネスの新しい循環型モデルの創出」のために「卓球を中心としたプロスポーツ×沖縄×飲食」の相乗効果を図ることに特徴があり、スポーツ関連事業と飲食事業の2事業セグメントで構成される。

スポーツ関連事業は、①同事業売上上の約80%を占めるスポンサー収入、②プロ卓球リーグのTリーグ分配金、③卓球教室収入、④グッズ収入、⑤ファンクラブ収入、⑥Tリーグのホームゲームに係るチケット収入、⑦YouTubeチャンネルからの広告などその他を含む。

飲食事業は、「バルコロバ」の冠名を中心とした洋風居酒屋(バル)型の店舗を沖縄で13店舗展開し、そのうち9店舗が直営、4店舗がフランチャイズ加盟店による経営となっている。飲食店舗には卓球台が置かれ、卓球を楽しみながら琉球アスティーダのファン同士でコミュニケーションを図ることができるなど、沖縄ならではの料理を通じて「スポーツ×沖縄×飲食」の相乗効果を高める役割も果たしている。

企業データ

主要株主(2021/2/26)	(%)
1.早川 周作	60.48
2.MTGV投資事業有限責任組合 無限責任組合員 株式会社MTG Ventures	19.30
3.岡田 晃男	3.05
4.株式会社シーエムディラボ	4.05

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。